

2018年4月18日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

Morgan Stanley および Morgan Stanley & Co. LLC との「セールスプラン」締結について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 平野 信行、以下 MUFG）は、本日、Morgan Stanley（会長兼最高経営責任者(CEO) James P. Gorman、以下モルガン・スタンレー）および Morgan Stanley & Co. LLC（以下、モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー）との間で、セールスプラン（以下、本セールスプラン）を締結いたしました。本セールスプランにおいて、MUFG は、モルガン・スタンレーによる自社株式取得にかかわらず同社普通株式に係る MUFG の実質的保有比率を 24.9%未満に維持するために、MUFG が保有する同株式の一部をモルガン・スタンレーの代理人であるモルガン・スタンレー・アンド・カンパニーを通じて、モルガン・スタンレーに対して売却することとなります。

1. 背景、株式売却の理由

2008 年、MUFG は、モルガン・スタンレーとの戦略的提携の一環として、モルガン・スタンレーの発行済流通普通株式の約 22.62%に相当する転換型優先株式を取得いたしました。その後、2011 年に当該優先株式を普通株式に転換しており、転換直後の MUFG によるモルガン・スタンレーの流通普通株式の実質的保有比率は約 22.56%でした。それ以降、MUFG はモルガン・スタンレーの普通株式を取得しておりません。しかし、モルガン・スタンレーによる継続的な自社株式取得により同社の普通株式の流通株式数が減少した結果、MUFG の実質的保有比率は徐々に増加しております。なお、2018 年 4 月 11 日時点の MUFG の実質的保有比率は約 24.53%^{※1}です。

一方、2008 年に MUFG が米国連邦準備制度理事会に対して行った誓約事項（passivity commitments）に従い、MUFG は、モルガン・スタンレーのあらゆる種類の議決権株式について、その実質的保有比率を 24.9%未満に維持することが求められています。本セールスプランは、MUFG が当該誓約事項を遵守することを目的として、MUFG が保有するモルガン・スタンレーの普通株式を、同社が自社株式取得プログラムに基づき自社普通株式を他の株主から市場で取得する期間中に、モルガン・スタンレーの代理人であるモルガン・スタンレー・アンド・カンパニーを通じて、モルガン・スタンレーに対して売却することを内容としています。本セールスプランに基づく株式売却については、モルガン・スタンレーの自社株取得プログラムの一部として、各四半期に 2 回実施することを想定しています。各期間において、MUFG は、モルガン・スタンレーが自社株式取得プログラムに基づき当該期間中に市場で他の株主から取得した普通株式の一定割合に相当する株式数を、当該期間中にモルガン・スタンレーが他の株主から取得した際に支払った平均価格で、モルガン・スタンレーに対して売却いたします。

なお、本セールスプランは、本邦における合弁事業を含め、MUFG とモルガン・スタンレーとの間の戦略的提携に何ら影響を及ぼすものではありません。

2. 業績に与える影響

本株式売却が MUFG の当期の業績に与える影響は軽微です。

※1 2018 年 3 月 26 日におけるモルガン・スタンレーの普通株式の発行済流通株式数にて計算しています。

以上